

厚木航空基地見学を実施



自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 狩野圭2等陸尉）は、5月27日（火）、海上自衛隊厚木航空基地の見学会を実施し、募集対象者17名と広報官4名の合計21名が参加した。

当日は、運航隊による航空機の説明、経理隊の勤務の概要、航空整備隊による整備内容説明、地上救難班の消防車における装備品展示など、基地内の様々な部署の見学と説明を実施したほか、隊員食堂で昼食の体験喫食も行った。

参加者からは「航空整備隊のエンジン整備を見学して興味を持った」、「専門的な知識を覚えてみたい」、「基地内はもっと騒がしいイメージを持っていたが意外と静かだと感じた」などの感想が聞かれ、自衛隊の仕事についての興味や関心が高まった様子が見受けられた。

横浜中央募集案内所は、「自衛隊入隊者の獲得を図るため、今後も若年層のフォーに重点を置いた取り組みを実施し、自衛隊についての認識と理解を深めてもらうよう尽力する」としている。

募集相談員との『絆』を構築

厚木管内自衛官募集相談員会総会を支援



会長挨拶



募集現状説明



懇談（意見交換）

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、5月30日（金）、厚木商工会議所で実施された厚木管内自衛官募集相談員会総会を支援した。自衛官募集相談員の任期は2箇年で、令和7年度は委嘱年度にあたるため、4月から5月にかけて県内各市町村の首長と神奈川地方協力本部長の連名で相談員への委嘱式が行われた。今回の総会は、厚木募集案内所管内の相談員が一堂に会する初の全体会議として開催された。

総会では、冒頭の会長挨拶に続き、令和6年度の活動報告および令和7年度の活動計画について発表があり、これまでの取り組み内容と今後の方向性が共有された。

その後、厚木募集案内所長から現状の厳しい募集状況について説明が行われ、少子化や進学志向など社会的要因による影響と、地域における具体的な問題について理解を深めた。

これを受けて相談員からは募集低迷の要因や今後の募集要領に関する確認があり、ポスター掲示や学校訪問、地域行事への参加など、具体的な支援方法について前向きな提案や意見が活発に出された。

また、総会後の懇談では、相談員の方々と厚木所の広報官が親睦を深め、信頼関係と連携の『絆』を構築することができた。

厚木募集案内所は、「自衛官募集相談員会との連携をさらに深めながら、地域に根ざした募集活動に取り組み、厳しい募集現状を乗り越えていきたい」としている。



記念撮影